



あきたへ、あなたも、あしたから

Aターン情報誌 あきた日和

AKITA BIYORI

発行 / (財)秋田県ふるさと定住機構

一人や仕事との出会いは突然にやってくるもの。そのチャンスをつかめるかどうかはその時に心の準備ができていたことにかかっているのではなからぬと思います。

Aターンインタビュー

TDK羽後株式会社
堀井 秀雄さん

秋田の「今」がよく分かる

あきた A・LA・CARTE

秋田の色を探る

データで見る

Aターン登録者の就職状況

INFORMATION

平成19年度 8月のイベント情報



2007
夏号
vol.38

秋田に戻るといふ決意

堀井秀雄さんは由利本荘市(旧宮城町)出身の35才。東京理科大学理学部二部化学学科を卒業しました。化学製品製造会社に就職、化学製品、工機排水の分析等、化学技術者として働きながら勉強を続け、危険物取扱者の資格を取得した努力家です。Aターンについては、いずれ秋田に戻り、家を継ごうと決めていた、と言います。

「妻にもそのように伝えてから、結婚を申し込みましたし、Aターン登録も妻と一緒に出かけました。35歳になるまでには秋田へ戻りたいという目標がありました。」

登録から5年、TDK羽後株式会社から面接のリクエストがあり、家族見学会制度を利用して来秋、採用が決定し、今は堀井さんのお母様と奥様の三人で暮らしています。

仕事との出会い

Aターン登録をしてから、実際にAターンされるまでの5年間はいかがでしたか？

「ふるさと定住機構から定期的に就職情報が送られてくるので、長期間にわたり自覚を促すことが出来ました。秋田を離れているとどうしても地域情報にうとくなりがちですが、送られてくる刊行物によって地域情報を知るこ

とが出来たのもよかったと思うことの一つです。我々、Aターン者に何が求められているのか、と秋田のニーズを伺い知ることができましたからね。求人の一覧チェックやネットの情報検索も、生活の中に取り入れてしまえば大変なことではありません。」

だから、5年という時間は決して長くはなかった。

「と思います。むしろ必要な時間でした。人や仕事との出会いは突然にや

ってくるもの。そのチャンスをつかめるかどうかはその時に心の準備ができているにかかっているのではないのでしょうか？」

企業からのリクエスト制度

リクエスト制度とは、Aターン登録の際、希望業種などを登録することで該当企業からの面接のリクエストがAターンプラザを通じ、Aターン希望者に届く仕組み。堀井さんは化学技術者として登録し、平成19年の1月に面接のリクエストを受けました。そこで家族見学会を利用して、奥様と共に来秋。「冬の秋田を知ることで、妻にも本場の秋田を感じてもらおうと思ったのです。」

昨冬はあいにくの暖冬でしたが、奥様は秋田の自然の豊かさにすっかり心を奪われたようで、Aターンが一気に現実味を帯びました。間もなく採用決定の知らせが届き、堀井さんはいよいよ秋田での再スタートをきることになります。

二人でAターン

再就職にあたって、一番心がけたことはなんですか？

「再就職では年齢が壁になることもありますので、それが心配でした。でも、あせらずに、ゆっくりと、一生涯

けていける仕事・環境はどれか、と慎重に進めました。今は自分が出した結果に心から満足しています。」

奥様も同意見？

「妻は県外出身者なので、言葉がわかりにくい、と少し困っているようです(笑)。でも私が希望していた以上の会社に再就職出来たことを、心から喜んでくれています。以前はお互いの勤務時間が違うことからなかなか一緒に外出することができなかったのですが、今は地元の案内も兼ねて、いつも二人で行動しています。前よりもコミュニケーションの時間が増えたのは、予想外の嬉しさです。」

これからの目標と、Aターンを考えている方々にメッセージをお願いします。

「Aターンの理由は様々ですが、何故、と何、を常に心に留めておかれてはいかがでしょうか？Aターンは自分だけでは決して実現しません。家族の協力と理解がなければ、そのための努力も怠らず、前向きに頑張ってください。」と話してくれました。

Aターンによって自分だけでなく、お母様や奥様も喜んでくれていることがなによりも嬉しいと話す堀井さんの笑顔が、希望に満ちた未来を感じさせてくれました。



TDK羽後株式会社
製造技術理解析担当
堀井 秀雄さん
昭和46年生まれ 35才
由利本荘市出身

TURN Interview

Aターンインタビュー

データで見る秋田の暮らし



TDK羽後株式会社

秋田県由利本荘市大内三川字弘川146-1
TEL 0184-65-2590 FAX 0184-65-3241
民生機関から自動車部品まで、小型化・軽量化・高性能化に最適な基礎部品から用途に応じたオリジナリティ溢れる世界トップレベルの製品まで生産。創立1970年、資本金1億1,000万円。



Aターン採用を語る

大内工場
工場長
松永 正浩さん

人事総務部
部長
竹内 正則さん

堀井さんの採用にあたって、決め手となったのはこれまでの経歴と実績。これからはより進んだ技術と知識が求められるポジションで自分の可能性を試してほしいと考えています。そして、積極的に発言できる社員になってもらいたいですね。せっかくの経験をしまい込むのではなく、会話を通じて、新しい風を吹き込んでもらうことも期待しています。

秋田県内の求人では工業化学という職種は非常に少ないのではないのでしょうか。しかし、そのことをデメリットとしてとらえず、むしろチャンスとして活動された堀井さんの頑張りや面接の際にも感じられました。企業のためにも、地元で生まれた人は大歓迎。もちろん中途採用も職種に見合った経歴の持ち主であれば、前向きに検討させていただきます。会社の一員として企業発展のために一緒に頑張れる方に来ていただきたいと思っています。



秋田

色の探る

夜空に浮かぶ光が幻想的な竿燈まつり、秋田の技として定着したガラス工芸、どこまでも赤く染まる男鹿半島の夕日、と秋田の夏は色とりどり。短い季節をいとおぼしめたい心を彩る秋田の色を紹介いたします。

秋田竿燈まつり

各地の夏祭りや比べても、技に見どころがあるのが秋田竿燈まつり。夕方、薄暗くなり始めた大通りに、約1万個に及ぶ稲穂を模したちょうちんが夜空に一斉にあがります。まるで満天の星空が近くなったように思われるほどの光。ちょうちんを操る差し手の若衆達は、「どっこいしょ、どっこいしょ」の掛け声と共に、1本約50kgの竿燈を手から肩、頭、腰へと移し換え、技術の粋を披露します。平成19年度は8月3日(金)から6日(月)までの4日間。

〒秋田市竿燈まつり実行委員会
〒010-8560 秋田市山王1丁目1-1
TEL 018-866-2112 FAX 018-866-2425
<http://www.kantou.gr.jp/index.htm>

男鹿半島の夕陽

秋田市内から車で約1時間半。海岸線を見下ろすドライブコースから、日本海に沈む夕陽が見えます。海と風の慢食によって作り上げられた奇石、通称「ゴジラ岩」は半島の南西、瀬崎にある岩。夕方になると沈む夕陽を背景に、まるでゴジラが火を吹いているように見えることから、こう名付けられました。男鹿の観光情報サイト「男鹿ナビ (<http://www.oganavi.com/>)」では、毎日の夕陽見どころ時刻を調べることができます。

〒社団法人男鹿市観光協会
〒010-0611 男鹿市船川港船川字新浜町1-1
TEL 0185-24-4700
FAX 0185-24-5700
<http://www.namahage.ne.jp/ogakk/>

ガラス作家 小牟禮尊人

固く透明な質感、ガラスが滑り落ちる瞬間を閉じ込めたような柔らかな形。相反する感覚が同居する作品には、様々な自然の造形が見え隠れします。秋田公立美術工芸短期大学で教授を勤め、04、05、06年にはテレビ番組「TVチャンピオン・ガラス王選手権」に3年連続で優勝。秋田でガラス文化を定着させるべく開始した「あきたGLASS FESTA」の発起人

〒秋田公立美術工芸短期大学 窯芸ガラスコース
〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3
TEL 018-888-8100 FAX 018-888-8101
<http://www.amcac.ac.jp/welcome.html>



秋田杉染め 鈴木美保子

「草木染めで秋田の自然を表現したい。」という思いを込めて、秋田の木々にこだわって染め上げられた絹・綿・羊毛の作品の数々が並ぶ様子は、移り変わる秋田の風景を見ているかのよう。日本三大美林の一つに数えられる秋田杉で染められた糸は、桜のようなピンクから枯れた木肌を感じる色合いのものまで様々。平成20年春に秋田で行われる第59回全国植樹祭では、「緑の少年団」が使うスカーフとして使用されます。

〒いと工房 めくもり
〒010-0003 秋田市東通9丁目1-88
TEL&FAX 018-831-6373

色と心理

無色に見える太陽光線がプリズムを通ると、屈折率の違いにより7つの光に分散します。その光が物体に反射したり透過したものが「色」と呼ばれるもの。目から入ってくる色は、電気信号として脳の視床下部に伝わり、その色によって分泌されるホルモンの種類や量に違いがでることから、色は私達の心理に大きな影響があるのだとか。やる気、気力を出したい時はアドレナリンの分泌が盛んになる赤を着る、落ち着いて物事を進めたいときは、交感神経に作用し、リラックス効果のある青、緊張や不安の解消には紫、判断力をつけたい時には黄色がよい、といわれています。こそぞ、という時に実力が発揮できるように、色の効果も味方につけたいですね。

ババヘラ・アイスのパラソル

夏の間、秋田県内の国道沿いなどで見かける鮮やかなピンクと黄色のパラソル。秋田名物「ババヘラ・アイス」はシャーベットのような口当たりがさわやかな涼菓です。「バラ盛り」でお願いすると、バラの花びらのようにきれいに盛り付けてくれます。「ババヘラ」のネーミングの秘密は売り子さんに聞いてみてください。



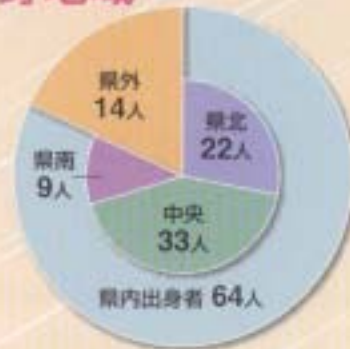
〒株式会社 進藤冷菓
〒010-0422
男鹿市角間崎字下屋長根1-3
TEL 0185-46-2066
FAX 0185-46-2086
<http://www.babahera.net/>

A ターン登録者の就職

データで見る
Aターン登録者の就職

昨年度(平成18年4月～平成19年3月)一年間で、Aターン登録者78名の方々が秋田に就職しました。その状況ついてまとめてみました。

出身地域



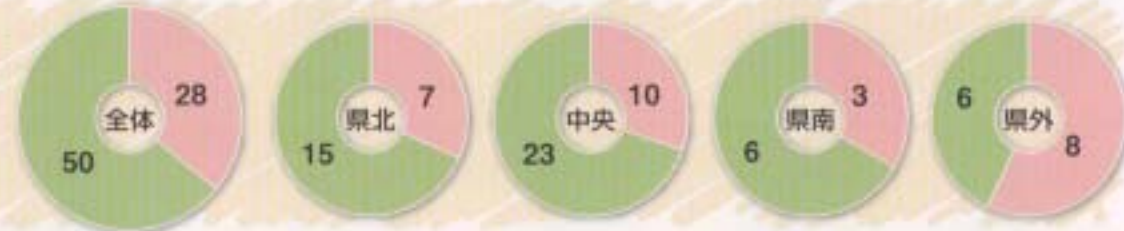
性別

(単位/人) ■男 ■女



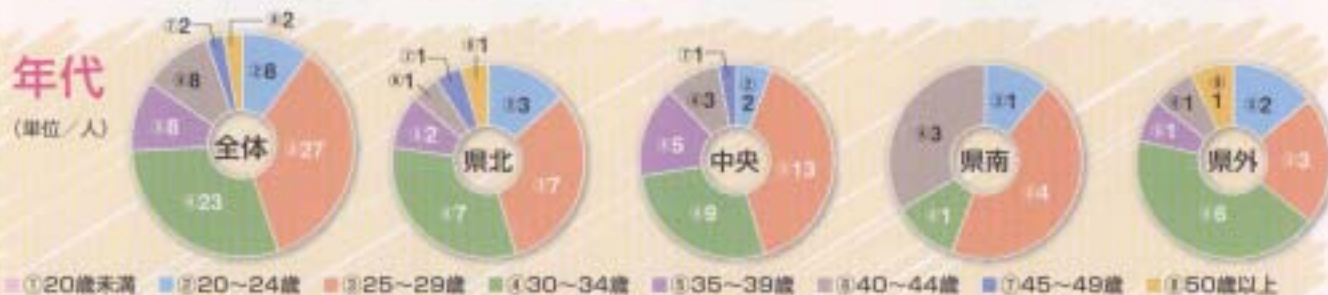
結婚形態

(単位/人) ■既婚 ■未婚



年代

(単位/人)



希望職種と実際についた職種

(単位/人)

- ①専門的・技術的職業
- ②管理的職業
- ③事務的職業
- ④販売の職業
- ⑤サービスの職業
- ⑥保安の職業
- ⑦農林漁業の職業
- ⑧運輸・通信の職業
- ⑨技能工・採掘・製造・建設の職業及び労務の職業
- ⑩不問・不明



Aターン希望登録の状況についてはこのようになっています。

平成18年度中の新規登録者の状況

昨年度一年間で242人の方々が新たに登録されました。その内訳は次のとおりです。

全登録者の状況

平成19年3月末現在で1,417人の方々が登録されています。その内訳は次のとおりです。

登録者年代別 (単位/人)



登録者希望職種別 (単位/人)



- ①専門的・技術的職業
- ②管理的職業
- ③事務的職業
- ④販売の職業
- ⑤サービスの職業
- ⑥保安の職業
- ⑦農林漁業の職業
- ⑧運輸・通信の職業
- ⑨技能工・採掘・製造・建設の職業及び労務の職業
- ⑩不問

登録者連絡用はがき

※お名前等をご記入の上、個人情報保護シールを記入欄の上に取り付けてください。

■住所変更連絡欄 (変更後の住所等を記入)

〒 _____

番 _____

■封筒の種類 (どちらかに○印)

白封筒 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や個人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。

氏名 _____ 登録番号 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

登録住所 〒 _____

番 _____